

# 議事録作成支援システム賃貸借

## 仕様書

1. 契約名 議事録作成支援システム賃貸借契約

2. 調達内容

議事録作成支援システム賃貸借契約のライセンス数等については以下のとおりとする。

- ・クラウド型議事録作成支援システム一式
- ・スタンドアロン型音声認識ソフトウェア追加用ライセンス:23 ライセンス

3. 納入場所

大分県総務部デジタル政策課（大分県庁舎 本館2階）

〒870-8501

住所：大分県大分市大手町3丁目1番1号

電話：097-506-2078

4. 納期 令和 7年 5月 30日まで

5. 目的

大分県では「長時間労働の是正に向けた職員行動指針」を策定し全庁的に公務能率の向上を推進している。今回の調達では、AI（人工知能）による音声認識システムを活用することにより、各種会議等の会議録作成について業務の円滑化と効率化を図ることを目的とする。

6. 概要

(1) 議事録作成支援システム

前提条件

- ・受託者及び受託者が提案予定の製品は、自治体での導入、稼働、保守実績が九州で50件以上、大分県内で5件以上あること。  
(方言の認識率保証のため)
- ・販売代理店であることの証明ができること。

- ・議事録作成支援システムの機能はオフライン（インターネット未接続）の状態を利用可能なスタンドアロン型とインターネット/LGWAN で利用できるクラウドサービス両方を提供すること。
- ・スタンドアロン型の場合、インストール可能数に制限がないこと。  
また、USB キーや管理サーバなどを用い、最低でも同時に 23 台の PC で利用出来ること。この場合、クライアント PC は県が所有する PC を利用するため、本調達には含まない。
- ・クラウド型の場合、音声認識の利用に際し同時接続の制限がないこと。
- ・既存のマイク設備との設定支援等、受託業者にて運用支援可能なこと。

#### 機能要件

##### ① 音声データからテキストデータへの変換機能

- ・複数の発言者による自然発話の音声に対し、AI 技術を活用することで自動的にテキスト化する音声認識システムを提供できること。
- ・話し言葉の音声認識ができること。
- ・複数の言語モデル（領域特化型辞書）を選択して使用できること。
- ・音声認識エンジンを簡易カスタマイズできる単語登録機能が搭載されていること。
- ・音声認識機能は、不特定話者対応で事前に話者の音声の登録・学習が不要であること。
- ・音声認識機能は単語認識ではなく連続音声認識であり、発話内容を一字一句文字化できること。
- ・間投詞等のフィルター（不要語）を認識し、音声認識結果に表示しないこと。
- ・自動的に句読点の出力ができること。

##### <クラウド型>

- ・ユーザーIDとパスワードによるユーザー認証ができること。また一定回数続けてログインに失敗した場合に、一時的にログイン不能にできること。
- ・サービスサイトは、インターネットからだけでなく LGWAN（総合行政ネットワーク）からも接続して利用できること。接続方法として、導入時に

以下の 3 種類から選択できること。

- ・インターネットのみ
  - ・LGWAN のみ
  - ・インターネットと LGWAN の併用
- ・当該機能は国内設置のサーバから提供されること。
  - ・ファイルのアップロードサイズの上限は 1024MB (複数ファイルの場合は合計)以内であること。ただし、LGWAN から利用する場合は、それに限らない。
  - ・処理依頼してから認識結果ファイルのダウンロードが可能になるまでの時間は、以下の時間内とすること。
    - ・音声ファイルの長さが 1 時間未満の場合は、1 時間以内。
    - ・音声ファイルの長さが 1 時間以上の場合は、音声ファイルの長さと同等の時間内。
  - ・音声ファイル (wav / mp3 / wma / m4a / aac / wmv / avi / mp4 / m4v) から音声認識処理ができること。
  - ・アップロードされた音声データ及び出力されたファイル等は暗号化されて保管されること。これらのファイルはユーザーの任意のタイミングで削除できること。ユーザーの削除操作がない場合でも、アップロードから一定期間経過後、自動的かつ完全に削除できること。
  - ・認識結果ファイルは、一般的なソフトウェアが扱えるテキスト、CSV 形式で出力が可能であること。
  - ・テキスト化する音声データの件数や、音声ファイルのアップロードに際し同時利用に制限がなく、音声ファイルのアップロード上限が無制限または月 150 時間まで定額で利用ができること。
  - ・400 個以上のユーザーID を登録できること。  
また、ID,パスワードのシステムへの設定は CSV ファイル等で一括設定が行えること。
  - ・インターネット上の通信は、TLS1.2/TLS1.3 (暗号強度 256 ビット) で暗号化ができること。

- ・ユーザーが使用するユーザーサイトと管理者が使用する管理者サイトの提供ができること。
- ・ログイン後、前回ログイン日時を確認ができること。
- ・管理者アカウントはID毎の利用状況（IPアドレス、ログイン数、音声変換数・時間等）を確認できること。

#### <スタンドアロン型>

- ・リアルタイムでの音声認識に加え、録音した音声データを取り込んで文字化するバッチ認識にも対応していること。
  - ・領域特化型(議会)の音声認識辞書に対応していること。
  - ・音声ファイル（MP3,WMA,WAV, M4A）、動画ファイル（WMV,MP4）に対し、音声認識ができること。
  - ・音声認識で文字化されたテキストから順次、修正作業に着手することができること。
  - ・音声の録音から音声認識、テキストの編集、文字起こし内容の出力まで1つのアプリケーション内で行えること。
  - ・視聴用に音声認識で文字化されたテキストや文字起こし内容を別の画面に表示できること。（字幕機能）
  - ・録音音声と認識結果のテキストをひとつのファイルで保存できること。
  - ・話者振り分けができること。また、振り分けられた話者情報から自動で話者識別ができること。
  - ・音声データのみを音声ファイル(WAV または M4A)へ出力できること。
  - ・会議の進行をサポートするモードを備え、アジェンダの設定やタイムキープが可能であること。
  - ・ライセンスの管理方法として、最大3グループまで区分け可能であること。
- ② 自動変換されたテキストデータの編集機能
- 編集機能は効率的に発言位置の検索、特定及び編集するため、以下の機能を有すること。
- ・発言内容単位で音声を聞きながら認識文字列を修正・編集できること。（バッチでの音声認識時）

- ・編集結果ファイルは、一般的なソフトウェアが扱える TXT、CSV、Microsoft Word (docx)、Microsoft Excel (xlsx) の形式に対応していること。
- ・発言内容ごとに、「重要チェック」「決定事項」等のタグをつける事ができ、編集中やテキストファイル出力後に該当箇所を確認しやすくできること。
- ・発言内容に対して絞り込み検索ができること。
- ・絞り込み検索において、タグ、出席者、キーワード等で検索を絞り込むことができること。
- ・絞り込み検索で絞り込んだ内容のみをテキストファイルに出力できること。
- ・一つの発話の編集が終了したら、自動的に次の発話の編集に入り、音声も自動再生できること。
- ・ピッチを変えずに音声の再生速度の変更ができること。
- ・選択した発言内容の音声をループ（繰り返し）再生できること。

## （2）設置作業・操作説明

- ① 議録作成支援システム導入設置
- ② 操作マニュアルの提供
- ③ 管理者/利用者向け操作説明会の実施（1回以上、現地/WEBにて想定）
- ④ 利用状況などをもとにした運用支援

## （3）問い合わせ対応

- ・システム利用期間中、電話またはメールにより、システムの操作に関する問い合わせ対応を行うこと。
- ・問合せ対応（電話）の受付時間は、原則として8時30分から17時15分までとする（土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び12月29日から1月3日までの日を除く）。

## 7. その他

その他、不具合が生じた場合は、その都度協議を行い対応を取ること。